

がんのバイオマーカーとしてのアミノ酸トランスポーターの有用性に関する研究

1. 研究の対象

1983年1月から2016年12月までの間に当院でがんに対する外科手術が行われた患者さんで、切除標本の病理組織ブロックが当院検査部病理に保存されており、術後経過などの臨床データが入手可能な方。

2. 研究目的・方法

がん細胞は、急速な細胞増殖や亢進した細胞内代謝を維持するため、通常の細胞以上に外部から栄養を取り入れる必要があり、糖やアミノ酸のトランスポーターの発現が高まることが知られています。本研究では、がん細胞で発現が更新しているとされるアミノ酸トランスポーターのLAT1、LAT3、ASCT2に着目し、主に免疫組織化学を用いて各種がんにおけるこれらのトランスポーターの発現とがんの生物学的悪性度、予後、化学療法効果等との関連を調べ、バイオマーカーとしての有用性を検討します。研究期間は学校長承認後から平成33年3月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、リンパ節転移の有無、生存期間 等

試料：病理検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 病態病理学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511（内線 2279）

FAX：04-2996-5197

研究責任者：佐藤 仁哉